

大分工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	農学概論
科目基礎情報						
科目番号	R04AC1002			科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	専攻科共通専門科目			対象学年	専1	
開設期	前期			週時間数	2	
教科書/教材	(教科書) 高木浩一他「工業技術者のための農学概論」理工図書					
担当教員	高木 浩一,濱田 英介,中川 裕子,帆秋 利洋,高橋 徹,森田 昌孝					
到達目標						
(1) 農業と工学の関係を理解する。(課題, 定期試験) (2) 農業生産物の生産, 管理, 加工, 流通, 安全について理解する。(課題, 定期試験) (3) いきものづくりについて, 技術者の観点から概観できる。(課題, 定期試験)						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
目的・到達目標(1)の評価指標	農業と工学の関係を十分に理解し, 自ら考えを広げていくことができる.		農業と工学の関係を理解している.		農業と工学の関係を理解できていない.	
目的・到達目標(2)の評価指標	農業生産物の生産, 管理, 加工, 流通, 安全について理解し, 論じることができる.		農業生産物の生産, 管理, 加工, 流通, 安全について基礎的に理解している.		農業生産物の生産, 管理, 加工, 流通, 安全について理解していない.	
目的・到達目標(3)の評価指標	いきものづくりについて, 技術者の観点から概観し, 論じることができる.		いきものづくりについて, 技術者の観点から概観できる.		いきものづくりについて, 技術者の観点から概観できない.	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育目標 (E2) JABEE 1.2(d)(1)						
教育方法等						
概要	この科目は, 県や国や企業において農業生産物の生産・管理・加工を担当している教員あるいは担当していた教員が, その経験を活かし, 工業技術者のための農学概論についてオムニバス方式で授業を行うものである. 農業生産や加工, 輸送など, 農業をとりまく状況は技術の進展とともに急速に変化しつつある. 植物工場による生産や ICT農業など新しい生産のしくみも進んでいる. このような中, 技術者として農学の基礎を修得しておくことは, 将来の技術者としての発展のために有益であるとともに, 農学の素養を持った技術者の育成は, 農業の発展にとっても欠かせない課題となりつつある. このような観点から, 本講義では, 農業と工学の関係, 植物の生理・生産, 土壌管理, 栽培管理, 米や園芸作物, 播種と育苗, 畜産物, 水産物, 加工, 貯蔵, 流通, 安全, バイオ操作までを網羅して概観する. 技術者として「いきものづくり」についての基礎理解を得ることを目指す. 本科目は, 「アグリエンジニアリング教育」対応科目である. (科目情報) 教育プログラム 第3学年 ○科目 実践的教育科目/AE科目					
授業の進め方・方法	毎回, テキストの各章の著者あるいは対応する専門家が各章の講義を担当します. 講義の最後に課題を出します. (事前学習) テキストを読んで, 疑問点やさらに学びたい点を確認しておくことと良い.					
注意点	(履修上の注意) 講義ごとにレポート課題を提出する. (自学上の注意) 毎回, 教科書の対応箇所を読んでおくこと. 学んだことを通して現実の農業の技術的側面などの事情を観察考察すること.					
評価						
(総合評価方法) 達成目標の(1)~(3)について試験と課題で評価する. 総合評価=定期試験の成績×0.3+課題平均点×0.7 (単位修得の条件) 総合評価が60点以上を合格とする. (再試験) 再試験は原則として行わない.						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	農学と工学 (高木浩一)		農業とは. その歴史. 循環. 農業生産概観.	
		2週	農学を学ぶための生物基礎 (中川裕子)		農学を学ぶための生物基礎の理解.	
		3週	植物の生理と生産 (鈴木健策)		光合成, 呼吸, 環境. 植物の成長と分化.	
		4週	土壌と肥料 (濱田英介)		土壌の三相構造. 肥料, 微生物, 土壌管理.	
		5週	栽培管理 (藤尾拓也)		生育と環境管理. 病害虫. 植物工場.	
		6週	稲作とお米 (黒田栄喜)		稲の一生, 栽培技術の変遷と機械化, 食味と用途	
		7週	園芸作物と生産 (山口健一)		園芸植物分類. 蔬菜, 果樹, 花卉. 栽培.	
		8週	播種と育苗 (長江嗣朗)		園芸植物の繁殖と育種. 種子. 播種. 育苗.	
	2ndQ	9週	農産物の貯蔵・加工・流通 (小出章二)		穀物, 青果物の貯蔵・加工・流通. LCA.	
		10週	畜産と食 (佐藤れえ子)		畜産と食, 種類, 鮮度. 加工と安全. 流通.	
		11週	水産物と食 (袁春紅)		水産物の種類. 漁業, 養殖, 加工, 流通.	
		12週	食品の安全と食品加工 (折笠貴寛)		食品の種類性質. 機能, 加工, 殺菌, 安全.	
		13週	バイオ操作 (中川裕子)		育種. 組織培養.	

		14週	バイオ操作（坂本裕一），総論まとめ（高木浩一）		微生物，きのこ培養， 総論とまとめふりかえり。		
		15週	前期期末試験		到達目標(1)(2)(3)		
		16週	前期期末試験の解答と解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
	定期試験	課題点	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	70	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	30	70	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0